

市民意識調査の結果が
まとまりました



ご協力ありがとうございました

名張での暮らしを、どう感じていますか？

平成24年度市民意識調査の結果がまとまりましたので、その一部をご紹介します(全ての項目の結果は市ホームページに掲載)。市では、この結果を基に、名張市総合計画「理想郷プラン」の進み具合を確かめたり、効果的な事業の進め方を検討したりしていきます。

☎ 総合企画政策室 ☎ 63-7389

調査対象…市内在住の20歳以上の人
調査数…2,030人(無作為抽出)
回収率…46.3%(940人/郵送による回収)
調査期間…4月28日～5月16日

Q. 名張市の住みごころは？

8割を超える人が「住みよい」

● 昨年度と比べ「住みよい」は、2.3ポイント増

名張市の住みごころについて、「住みよい」「どちらかといえば住みよい」と答えた人は合わせて85.7%。昨年度と比べ、「住みよい」とした人は、40歳代、60～64歳で平均8.7ポイント上回りました。

Q. 地域の医療体制に満足？

6割の人が「不満足」

● 昨年度と比べ「不満」は、8.2ポイント減

現在の医療体制について、「やや不満」「非常に不満」と答えた人は合わせて57.1%。しかし、昨年度と比べ「不満」とした人は、30歳代、50歳代で平均11.6ポイント減少するなど、すべての年代で減少しました。

Q. 災害に対する備えは？

6割の人が「備えていない」

● 昨年度と比べ「備えていない」は、1.2ポイント減

災害の備えについて、「あまり備えをしていない」「まったく備えていない」と答えた人が合わせて61.3%。昨年度と比べ、「備えていない」人が、30歳代で7.1ポイント増加しましたが、50歳代で6.9ポイント減少しました。

Q. 日常生活の利便性は？

7割の人が「満足」

● 昨年度と比べ「満足」は、5.9ポイント増

日常生活の利便性について、「十分満足」「一応満足」と答えた人は68.3%。昨年度と比べ「満足」とした人は、75歳以上で8.6ポイント下回りましたが、20歳～40歳代、60～74歳で平均9.0ポイント上回りました。

Q. 子育て支援施策に満足？

6割の人が「満足」

● 昨年度と比べ「満足」は、0.9ポイント増

子育て支援施策について、「十分満足」「一応満足」と答えた人は合わせて57.4%。昨年度と比べ「満足」とした人は、20歳代で0.7ポイント上回りましたが、30～40歳代で平均3.2ポイント下回りました。

Q. 働ける場所が確保されているか？

7割の人が「確保されていない」

● 昨年度と比べ「確保されていない」は、1.1ポイント減

働ける場所が確保されているかの問いに、「どちらかといえば確保されていない」「確保されていない」と答えた人は合わせて74.8%。昨年度と比べ「確保されていない」とした人は、60～64歳で、6.2ポイント減少しました。

Q. 公共交通など市内の交通環境は？

6割の人が「不満足」

● 昨年度と比べ「不満足」は、ほぼ横ばい

市内の交通環境について、「やや不満」「非常に不満」と答えた人は合わせて57.1%。昨年度と比べ「不満足」とした人は、50歳代で9.4ポイント増加しました。

Q. 小中学校の教育環境に満足？

6割の人が「満足」

● 昨年度と比べ「満足」は、0.6ポイント増

小中学校の教育環境について「十分満足」「一応満足」と答えた人は合わせて60.2%。昨年度と比べ「満足」とした人は、小中学生の保護者で2.9ポイント上回りました。65～74歳では9.3ポイント上回りました。

Q. 生きがいを感じている？

7割の人が「感じている」

● 昨年度と比べ「感じている」は、2.2ポイント減

生きがいを「感じている」「どちらかといえば感じている」とする人が73.8%。昨年度と比べ、「感じている」とした人は、65～74歳で6.4ポイント上回りましたが、75歳以上では、14.7ポイントと大きく下回りました。



教えて！ナッキー〔まちづくり編〕

「ゆめづくり協働事業提案制度」って？

市は、総合計画に基づいて市政を運営しているよ。15地域づくり組織でも、各地域の将来像を示した地域ビジョンによって、まちづくり活動が進められているんだよ。でも、地域だけ、市だけでは解決できない課題は、一緒に話し合いをしながら進めた方が、よりよいサービスにつながり、いい解決方法が見つかると思うんだ。そこで、地域と市の共通の課題を、地域から提案してもらい、市

15の地域づくり組織ってどんな活動をしているの？ そんな疑問にお答えし、まちづくりの制度や内容、旬の話題をお伝えします。 ☎ 地域政策室 ☎ 63-2186

と話し合いで事業を進めて、一緒に地域を良くしていこうというのが「ゆめづくり協働事業提案制度」なんだ。平成25年度から事業を始めるため、地域は提案書を作り、市と話し合いを進めているよ。市では、市民が主役で積極的にまちづくりに参加してもらう「自治のまち」を進めていて、この「ゆめづくり協働事業提案制度」もその新しい取組みの一つなんだ。

事業提案の一例



地域での防災啓発、防災備品整備などの事業



花いっぱい運動、桜の植樹など地域で行う公園整備事業



子育て広場の新設

◎ 3～5ページでは、「地域発信！ふるさと便」として各地域づくり組織からの活動状況などをお知らせします。今回は6地域をご紹介します、次回は、来年3月ごろに9地域からの情報をお届けする予定です。お楽しみに！